

いつまでもじふんたちのまちでげんきにたのしく

# あったかだより

9号

あったか恋し野 発行  
2022年 2月



## 【写真上】

移動スーパー運行記念式が保健福祉センターで行われ、市長さんらが参加。阪本都紀子コーディネーター（右端）が代表として出席しました。

## 【写真左】

販売場所の恋野地区公民館には、地域の方々が買い物にいられていました。

## 移動販売車がスタートしました！

12月6日(月)から毎週月曜日、移動販売車が恋野地区公民館に来ています。

生鮮食品やお惣菜・パン・日用品等を積めるように冷蔵庫も搭載した軽トラック。実施主体は、日の丸観光バス株式会社であったか恋し野（恋野地区第2層協議体）が協働して始めています。

買い物に行くことが困っている人への支援として始まりましたが、販売日の様子を見ていながら、コロナ禍で久しく出会えていなかった方の元気な顔を確認し合い、久しぶりの会話を楽しんでいる様子を見て、移動販売には買い物支援以外にも行けば必ず誰かと出会うことができるという新しい地域の交流の場になると発見できました。

今のところ、1か所ですが、希望があれば販売場所を広げていきたいと思っています。ご希望があれば、お気軽にお近くのコーディネーターまでお問合せください。

（生活支援コーディネーター）

阪本都紀子・上田ひと美・

澤村 績

# とび あったか人 しょうかい

## 地域の人の支えがあつてこそ



芋生 孝治さん(恋野区)

「二日でも早く、コロナが収束して、以前のようになり、みんなで餅まきがしたいな」  
こう話してくれたのは、恋野区にお住いの芋生孝治さん。91歳。  
長年、福王寺講代表世話人、檀徒総代表、中将姫保存委員会代表、あじさいまつりの世話人等として、現在も活動されています。

特に中将姫保存会は、お父様が初代の会長さんということもあつて地域の大切な催しの中心人物として活動を継承されています。

数々の地域の重要な役割を担っている芋生さん。「私一人では出来なかつたこと。みんなの支えがなければ出来なかつた」と話してくれました。地域のために一生懸命、活動してきた姿を見てきたからこそ、地域にとつてはかかせることができない頼られる存在。

91歳とは思えない、芋生さん。とっても笑顔がチャーミングなあったか人でした。  
これからも、ますますお元気で活躍ください。

## 脳トレーニングあったかクイズにチャレンジ!

記念品あり!

問題：徒競走で3位を抜きました。  
今何位でしょう?



正解された方の中から、5名の方に、記念品をプレゼント! 官製はがき下記メールアドレスまでに、お名前・住所・連絡先・答えと理由・ご意見などをご記入の上、**2月18日(金)**までに下記あてにお申込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

●ハガキの場合

〒648-0021 橋本市恋野2126 窪田あて  
あったか恋し野 事務局 行

●メールの場合 attakakoishino@gmail.com



▲前回の記念品は、阪本都紀子さんが作ってくれた、お正月用のアレンジメントフラワーです。

【前回の回答】左端もしくは右端の10円玉を縦に並んでいる2番目の10円玉に重ねる。